

◆計画

区・局の目標（何をめざすのか）

区民が安全で安心して暮らせるまち、魅力を高め発展するまち「このはな」を実現する。

区・局の使命（どのような役割を担うのか）

- ①区内の基礎自治に関する施策や事業を、区や地域の事情・特性に即して総合的に展開する。
- ②住民に身近な行政機関として、さまざまな主体による地域活動の総合的な支援を行う。
- ③区民の日常生活の安全・安心を担う総合拠点として、便利で親切的な行政サービスを提供する。

平成28年度 区・局運営の基本的な考え方（区・局長の方針）

此花区は、工業地帯として発達してきた歴史をもち、庶民的なまちである。近年はテーマパークの存在やマンション建設による住民の増加で、まちのイメージが変わりつつあるほか、舞洲・夢洲のあるベイエリアという特徴もある。そこで、此花区民のあたたかい人情やコミュニティ意識をいかし、幅広い区民の意見やニーズを把握しながら、津波避難対策などの安全安心で魅力あるまちづくりや健康福祉の推進を図る。とりわけ、若い世代の地域参加を促進するなど地域活動の一層の活性化を図りつつ、地域活動協議会の運営支援など自律的な地域運営が実現されるよう支援していく。また、区政運営に当たってはPDCAサイクルの徹底など、事務事業の見直し、ムダを徹底的に排除すると共に成果を意識した行財政改革を進める。

重点的に取り組む主な経営課題（様式2）

経営課題の概要	主な戦略
<p>【経営課題1 災害に強く、犯罪の少ない安全安心なまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震災害等の発生時に、地域住民が災害対策のリーダー役の住民の指揮の下、適切な避難行動等を行えるよう、各地域の自主防災組織のリーダー役の災害対応スキルの向上や、新たな防災の担い手の確保を行う。 ・また、ひったくり等の街頭犯罪や放置自転車の発生が少なく、区民が安心して暮らせるよう、地域における子どもや高齢者の見守り体制の確保や自転車利用ルールの徹底を図る。 	<p>【1-1 災害に強いまちづくり～地域特性に応じた地域防災力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとの自主防災組織における具体的な津波避難計画の策定 ・多様な世代の参加と育成に重点を置いた実践的な津波避難訓練の実施 <p>【1-2 地域防犯対策の推進と自転車利用ルールの徹底】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街頭犯罪や子ども声かけ事案に対する地域の実情に応じた啓発・巡視の実施
主な具体的取組（28年度予算額）	
<p>【1-1-1】自主防災組織の防災力の向上(28年度 1,933千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとの津波避難計画の策定、避難訓練の実施 ・地域防災リーダーに対する技術訓練・連続講座 <p>【1-2-1】区民の安全確保のための防犯対策事業(28年度 807千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車盗に関する区民向けキャンペーンの実施 ・地域ごとの「子ども見守り隊」やPTAとの意見交換会の開催 	
経営課題の概要	主な戦略
<p>【経営課題2 生き抜く社会力を身につける教育と子育てしやすい環境づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自分自身の未来に希望を持ち、生き抜く社会力を身につけることができるよう、学校における学習以外に、実社会に触れる機会を提供する。 ・小中学生が望ましい基本生活習慣を身につけ、自主学習に取り組むことができるよう地域や学校と連携した方策を実施する。 ・子育てに関する地域、行政のネットワークが充実し、区民が安心して子育てができるよう、ICTなどを活用した子育て情報の提供や、地域における相談体制を構築する。 	<p>【2-1 未来に向けた実践的な教育環境づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内各小・中学校と連携したキャリア教育講座の開催 ・小中学生にかかる望ましい基本生活習慣の確立と学力の向上のための方策の策定と実施 <p>【2-2 地域ぐるみで子育てをするまちに】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTなどを活用した子育て情報提供の仕組みの構築
主な具体的取組（28年度予算額）	
<p>【2-1-1】子どもたちの未来のために！！事業(28年度 1,616千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生を対象とするキャリア教育講座及び小学生を対象とする実社会に触れる取組の実施 ・小中学生の基本的な生活習慣確立のための保護者向け講座 <p>【2-2-1】子育て応援の取組(28年度 3,118千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に乳幼児の子どもを育てる家庭に対する、ICTなどを活用した適切な支援、相談及び情報の提供 	
経営課題の概要	主な戦略
<p>【経営課題3 誰もがいきいきと暮らせる健康・福祉の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活において、高齢者・障がい者等が、地域社会において見守られ、必要に応じて適切な支援を受けることができるよう、見守り活動等の取組を継続的に実施していくための担い手を育成する。 ・区民が自らの健康の維持に留意し、具体的取組を行うため、運動習慣や検診受診率向上について、意識啓発や実践に結びつく環境づくりを行う。 	<p>【3-1 地域に密着して福祉課題の解決をめざす】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティアの協力を得て「このはな地域見守りタイ」による高齢者等の見守り活動の実施 <p>【3-2 健康でいきいきと暮らせる環境づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康維持、健康づくりの推進や生活習慣病の早期発見を図るための健康寿命に関する意識啓発 ・区内各種イベントでの健康体操やポイント事業の継続 ・ターゲットを絞った情報発信によるがん検診の受診率向上の取組

主な具体的取組（28年度予算額）	
<p>【3-1-1】高齢者等の見守り活動の取組(28年度 25,858千円) ・ボランティアリーダーを中心に地域住民で構成する「このはな地域見守りタイ」による高齢者等への訪問、電話、安否確認</p> <p>【3-2-1】このはないきいき長生きプラン(28年度 1,663千円) ・健康体操など区民が身近な場所で主体的に健康づくりを図ることができる取り組みの実施</p>	
経営課題の概要	主な戦略
<p>【経営課題4 このはなの魅力や可能性を最大限に活かした地域活力の創出】 ・区民が自分の住むまちに誇りと愛着を持ち、地域の公益的活動に積極的に参画するために、あらゆる世代へ向けた積極的な情報発信や、此花のまちの魅力に関する自由な意見交換の場を提供するとともに、舞洲を活用したイベントの開催によって、此花のまちの新たな魅力を創出する。 ・区民が日常生活のなかで、自律的に環境に配慮した活動を行うため、子どもへの啓発や多世代が参加できる環境づくりの取組を推進する。</p>	<p>【4-1 人を育てる視点で「このはな」の魅力発信】 ・舞洲が此花区の新たな魅力資源であるという認識を区民に印象づけるためのスポーツ・レクリエーション関係のイベントの実施</p> <p>【4-2 環境先進都市・大阪をめざすために行う環境創造のモデル的な取組の推進】 ・環境創造に関する啓発・情報発信</p>
主な具体的取組（28年度予算額）	
<p>【4-1-2】MKBプロジェクト(28年度 3,020千円) ・区民が舞洲の魅力を改めて知ることが出来るよう、舞洲のスポーツ施設を活用した「MKBの祭典」を公募による実行委員会形式で実施</p> <p>【4-2-1】このはな環境創造プロジェクト(28年度 5,000千円) ・環境創造に関する啓発・情報発信</p>	

現行の「市政改革の基本方針」に基づく取組等（様式3）	
主な取組項目	取組内容
歳入の確保 国民健康保険料の収納率向上	・保険料負担の公平性の確保と本市の歳入増を図る。
主な取組項目	取組内容
自律した自治体型区政運営を支える職員の育成	・職員のスキル向上に向けた各種研修の充実や職場風土づくり等

◆自己評価

1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

解決すべき課題と今後の改善方向

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題1

【災害に強く、犯罪の少ない安全安心なまちづくり】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間で念頭に設定＞

【防災】

1 地震災害等の発生時に、地域住民が災害対策のリーダー役の住民の指揮の下、適切な避難行動等を行える状態

【防犯】

2 ひったくり等の街頭犯罪や放置自転車の発生が少なく、区民が安心して暮らせる状態

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

【防災】

（南海トラフ地震の被害想定）

・此花区は、海拔0メートル以下の地帯が大半を占めており、大規模な浸水、建物の倒壊など様々な被害が生ずる。

・津波の到達：地震発生後約113分、津波の高さ(最大)：大阪湾最低潮位より5.4m

（区や地域住民の取組状況）

実施内容	25年度	26年度	27年度 (1月末現在)
地域ごとの自主防災組織の設置	—	10 地域	10 地域
地域ごとの津波避難訓練	5 地域	5 地域	5 地域
災害時避難所ごとの避難所開設訓練	0 地域	3 地域	4 地域
地域ごとの防災ワークショップ等の開催	9 地域	10 地域	10 地域
地域防災リーダー等への連続講座	—	—	10 地域
地域防災リーダーへの高度な技術訓練 (アドバンスコース)	10 地域	10 地域	10 地域
地域防災リーダーへの一般的な技術訓練	10 地域	5 地域	2 地域

・地域防災リーダーの年齢構成：70歳以上：31%（平成27年4月1日現在）

【防犯】

（区の取組み状況）

・子どもの登下校の見守りを行っている「子ども見守り隊」は「老人クラブ」が中心となって活動しているところが多い。

（街頭犯罪等の発生状況）

	25年 (1-12月)	26年 (1-12月)	27年 (1-12月)
街頭犯罪発生件数が24区最少	24区最少	24区最少	24区最少
街頭犯罪発生件数	353	412	340
うち自転車盗難件数	244	260	219
子ども声かけ事案発生件数	21	13	4

・放置自転車撤去台数

25年度：2,315台 26年度：2,101台 27年度(4-12月)：1331台

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

【防災】

・各種の訓練や地域における防災の取組に参画する地域住民の固定化、高齢化

【防犯】

・地域における防犯や子どもの見守りの取組に参画する地域住民の固定化、高齢化

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

【防災】

・各地域の自主防災組織のリーダー役の災害対応スキルの向上

・新たな防災の担い手の確保

【防犯】

・地域における子どもや高齢者の見守り体制の確保

・自転車利用ルールの徹底

計画

自己評価

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

めざす成果及び戦略 1-1 【災害に強いまちづくり～地域特性に応じた地域防災力の向上】

計画	めざす状態<概ね3～5年間を念頭に設定> ・地震災害発生時に取るべき行動について地域住民が理解している状態 ・地域における災害対策のリーダー役が適切な指揮を行えるスキルを身につけている状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・地域ごとの自主防災組織における具体的な津波避難計画の策定 ・多様な世代の参加と育成に重点を置いた実践的な津波避難訓練、避難所開設訓練の実施 ・津波避難等にかかる必要な物資、機材の確保
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・大地震に対する備えを何もしていない区民の割合:20%以下(目標年次:29年度) ・災害が起きた際の避難行動について認識している区民の割合:70%以上(目標年次:29年度)	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況		a:順調 b:順調でない

具体的取組 1-1-1 【自主防災組織の防災力の向上】

26決算額 3,761千円 | 27予算額 33,129千円 | 28予算額 1,933千円

計画	取組内容 ・地域ごとの津波避難計画の策定(10地域) ・津波避難訓練(10地域) ・避難所開設訓練(10地域) ・地域防災リーダーに対する技術訓練・連続講座 ・高校生対象の防災啓発(1校) ・区民の防災意識を向上するための広報啓発 ・津波避難施設の確保	業績目標(中間アウトカム) ・地域住民が参加する訓練を繰り返し行うことが必要と考える区民の割合:80%以上 【撤退基準】 ・上記目標が50%以下であれば、事業内容を再構築する。
		前年度までの実績 26年度 5地域で津波避難訓練を実施。3地域で自主防災組織による避難所開設訓練実施 27年度 5地域で津波避難訓練を実施。4地域で自主防災組織による避難所開設訓練実施(平成27年12月末現在)

中間振り返り	業績目標の達成状況	①(i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○ ○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

めざす成果及び戦略 1-2 【地域防犯対策の推進と自転車利用ルールの徹底】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・引ったくり等の街頭犯罪や子ども声かけ事案を防ぐために、地域住民がパトロール等の活動をしている状態 ・自転車の利用、運転についてのルールを区民が理解し、実践している状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・街頭犯罪や子ども声かけ事案に対する、地域の实情に応じた啓発・巡視の実施 ・自転車の利用、運転についてのルールを徹底するための啓発・指導の推進
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・防犯の取組み及び放置自転車対策の成果が上がっていると思う区民の割合:80%以上(目標年次:28年度)	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体		
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須	
			A:順調 B:順調でない	
戦略の進捗状況		a:順調 b:順調でない		

具体的取組 1-2-1 【区民の安全確保のための防犯対策事業】

26決算額 2,258千円 | 27予算額 1,350千円 | 28予算額 807千円

計画	取組内容 ・警察と連携した定期的な情報発信 ・自転車盗に関する区民向けキャンペーンの実施 ・地域ごとの「子ども見守り隊」やPTAとの意見交換会の開催(随時)等	業績目標(中間アウトカム) ・各取組が犯罪発生件数の減少に役立っていると思う区民の割合:60%以上 【撤退基準】 ・上記目標が50%未満であれば、事業を再構築する。
	前年度までの実績	
	平成26年度 ・横のぼり 108件 反射板 51件 ポスター 163件 / 啓発回数: 73回 ・出前講座回数: 55回 / 研修及び意見交換会: 1回 ・学校園等巡回 小学校 7,306回, 保育所幼稚園 16,656回, 中学校 4,466回 ・防犯カメラ: 区内小学校 8台設置 平成27年度(27年12月末現在) ・横のぼり 52件 反射板 13件 ポスター 51件 / 啓発回数: 51回 ・出前講座回数: 30回 / 研修及び意見交換会: 1回予定 ・学校園等巡回 小学校 4,912回, 保育所幼稚園 10,702回, 中学校 3,028回 ・防犯カメラ: 区内小学校 0台設置	

中間振り返り	業績目標の達成状況	①(i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成		—
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組 1-2-2

【自転車利用ルールの徹底】

26決算額 11,742千円 | 27予算額 21,500千円 | 28予算額 7,098千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車利用、運転ルールの徹底のための啓発キャンペーンの実施（毎月1回） ・駐輪禁止区域におけるサイクルサポーターによる啓発・指導 ・タイミングや回数を工夫して放置自転車の撤去を実施（区CM事業） 	区内イベント等でのアンケートで啓発活動が有効であると感じる割合 60%以上 【撤退基準】 上記目標が40%未満であれば、事業を再構築する。
		前年度までの実績
		平成26年度 ・啓発指導キャンペーン：西九条駅 12回、千鳥橋駅 9回、伝法駅 2回 ・自転車撤去回数：112回 ・各駅サイクルサポーター配置：西九条・千鳥橋・伝法の各駅前 平成27年度（27年12月末現在） ・啓発指導キャンペーン：西九条駅 8回、千鳥橋駅 5回、伝法駅 0回 ・自転車撤去回数：80回 ・各駅サイクルサポーター配置：西九条・千鳥橋・伝法の各駅前

中間振り返り	業績目標の達成状況	①(i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成		—
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成	
戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)	

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題2

【生き抜く社会力を身につける教育と子育てしやすい環境づくり】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年を念頭に設定＞

【教育】

- ・子どもが自分自身の未来に希望を持ち、生き抜く社会力を身につけることができる状態
- ・小中学生が望ましい基本的生活習慣を身につけ、自主学習に取り組むことができる状態

【子育て】

- ・子育てに関する地域、行政のネットワークが充実し、安心して子育てができる状態

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

【教育】

- ・核家族化率 大阪府 90.86%（全国第4位）（全国平均84.62%）（2010年国勢調査）
- ・携帯電話・スマートフォン所有率（2014全国都道府県ランキング調査）
 - 小学生 大阪府 61.4%（全国第3位）（全国平均44.1%）
 - 中学生 大阪府 84.6%（全国第3位）（全国平均76.5%）
- ・小中学生のこどもを持つ家庭において「自然体験や社会体験など幅広い体験機会の提供」についての支援を求める回答が多い。（平成19年度大阪市「こどもの育成について」の世論調査）
- ・「入試のための勉強が主体となっているため、社会に出てから役に立つような学習の機会が必要。」（平成26年度第1回区政会議全体会議）
- ・教科に関する調査結果（平成27年度大阪市「全国学力・学習状況調査」結果）

（小学校）

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
全国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8
大阪府	67.6	62.7	74.8	44.1	57.3
大阪市	65.7	62.5	72.8	42.8	56.3

（中学校）

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
全国	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
大阪府	74.4	64.8	64.3	41.4	50.8
大阪市	73.5	63.6	62.0	40.1	49.3

【子育て】

- ・「大阪府は、安心してこどもを生み、育てられるまちだと思ふ」市民の割合：大阪市 30%（此花区・港区・大正区・住之江区の4区では 28.8%）（平成24年11月市政モニター）
- ・「子育てに関する適切な情報が取得でき、安心して子育てができると感じる」区民の割合：38.9%（平成26年12月区民モニター）
- ・妊娠中又は3歳未満の子どもの母親の意識（平成16年調査）；「不安や悩みを打ち明けたり相談する相手がいない」：21%（厚生労働省資料より）

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

【教育】

- ・携帯電話、スマートフォンの普及により、子どもが実社会を体験する機会が減っていることに加え、使用時間が長くなることによる基本的生活習慣の乱れから学力低下への影響が懸念される。

【子育て】

- ・子育てに関する適切な情報が取得できず、身近に相談する相手もない状況となっている。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

【教育】

- ・子どもが、学校における学習以外に、実社会に触れる機会の提供
- ・小中学生にかかる望ましい基本的生活習慣の確立と学力の向上のための方策の実施

【子育て】

- ・ICTなどを活用した子育て情報の提供や、地域における相談体制の構築

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

めざす成果及び戦略 2-1 【未来に向けた実践的な教育環境づくり】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・学校・地域・区との連携により、子どもへの実践的なキャリア教育が進められている状態 ・小中学生が望ましい基本的生活習慣を理解し、自主学習に取り組む必要性を自覚している状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・区内各小・中学校と連携したキャリア教育講座の開催 ・地元企業と連携したインターンシップの実施 ・子どもたちの地域社会への興味や関心を高める機会の創出 ・小中学生にかかる望ましい基本的生活習慣の確立と学力の向上のための方策の策定と実施
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・子どもが実社会に触れる機会が増えていると感じている区民の割合:50%以上(目標年:29年度) ・小中学生に望ましい基本的生活習慣や自主学習の必要性の理解を進める取り組みが行われていると感じる区民の割合:50%以上(目標年:29年度)	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体		
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	戦略の進捗状況		a: 順調 b: 順調でない	A: 順調 B: 順調でない

具体的取組2-1-1 【子どもたちの未来のために！！事業】

26決算額 2,639千円 | 27予算額 6,455千円 | 28予算額 1,616千円

計画	取組内容 ・中学生を対象とするキャリア教育講座 (2校) ・小学生を対象とする実社会に触れる取組 (8校) ・区内在住高校生を対象とするインターンシップ事業 (年1回) ・小中学生の基本的生活習慣確立のための保護者向け講座	業績目標 (中間アウトカム) ・子どもが自分の将来に希望を持てるような教育が行われていると考える区民の割合:50%以上 【撤退基準】 上記目標が40%以下であれば、事業を再構築する。
	前年度までの実績 ・キャリア教育の実施中学校数2校 ・特色ある取り組み実施小学校数 7校 ・英語劇の創作 発表会開催 (年1回) ・インターンシップの実施((株)ユー・エス・ジェイにて9名 7日間受入)	

中間振り返り	業績目標の達成状況	①(i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○ ○:有効 ×:有効でないため取組を見直す -:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す -:中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組2-1-2

【校庭等の芝生化】

26決算額 6,880千円 | 27予算額 5,502千円 | 28予算額 357千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	・子ども達が緑で遊べる環境として、校庭を芝生化し維持管理する活動を地域住民自らが行うことで、子ども達が地域住民と触れ合う機会を作り、子ども達の地域社会への興味や関心を高める。（3校実施）	・校庭を芝生化することで、子どもが地域社会とつながるなど実践的な教育に役立っていると感じる区民の割合：50%以上
		【撤退基準】 上記目標が40%以下であれば、事業を再構築する。
	前年度までの実績	
		芝生化施行1校『伝法小』 維持管理2校『西九条小 梅香小』

中間振り返り	業績目標の達成状況	①(i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成		—
	戦略に対する取組の有効性	○ × —	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

めざす成果及び戦略 2-2 【地域ぐるみで子育てをするまちに】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・子育て情報の入手が容易にできるとともに、地域における子育て支援の仕組みが適切に機能している状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・ICTなどを活用した子育て情報提供の仕組みの構築 ・子育てに悩んでいる人が、身近な地域において相談相手となる人材の確保
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・安心して子育てができると感じている区民の割合:50%以上(目標年次:29年度)	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
		A:順調 B:順調でない	
戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない		

具体的取組2-2-1 【子育て応援の取組】

26決算額 138千円 27予算額 2,976千円 28予算額 3,118千円

計画	取組内容 ・主に乳幼児の子どもを育てる家庭に対する、ICTなどを活用した適切な支援、相談及び情報の提供(随時) ・保育等の子育て支援情報の提供や専門員による施設、事業の利用にかかる窓口相談(随時)(CM事業) ・親子ともに知り合いになれる子育て応援イベントの開催(年2回) ・子育て家庭に対する学習会(年2回) ・地域における子育て応援人材の発掘と育成 ・子育てボランティア養成講座(年2回)	業績目標(中間アウトカム) ・子育て支援策が、不安や負担感の軽減に役立っていると感じる区民の割合:60%以上 【撤退基準】 上記目標が50%未満であれば、事業を再構築する。
		前年度までの実績 ・相談・情報提供の有無(件数):約200件

中間振り返り	業績目標の達成状況	①(i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題3

【誰もがいきいきと暮らせる健康・福祉の充実】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年を念頭に設定＞

- 【福祉】
 - ・日常生活等において、高齢者・障がい者等が、地域社会において見守られ、必要に応じて適切な支援を受けることができる状態。
- 【健康】
 - ・区民が、自らの健康の維持に留意し、具体的取組を行っている状態。

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

- 【福祉】
 - ・高齢人口(此花区のデータ。以下同じ)

	大阪市			此花区		
	65歳以上人口	高齢化率	伸び率(25→26)	65歳以上人口	高齢化率	伸び率(25→26)
平成25年10月推計人口	643,232	24.20%	0.70%	16,465	24.90%	0.80%
平成26年10月推計人口	663,364	24.90%		16,987	25.70%	

- ・65歳以上単身世帯

	大阪市			此花区		
	65歳以上単身世帯	65歳以上単身世帯率	伸び率(17→22)	65歳以上単身世帯	65歳以上単身世帯率	伸び率(17→22)
平成17年国調	144,773	12.03%	1.46%	3,333	12.09%	1.42%
平成22年国調	176,922	13.49%		3,984	13.51%	

- ・介護認定 25年度末 3,641人、26年度末 3,791人
- ・障がい者手帳交付 25年度末 4,218人、26年度末 4,239人
- ・高齢者虐待相談件数(サービス利用調整会議取扱件数) 25年度 90件、26年度 96件
- ・このはな地域見守りタイ事業

	ボランティア	見守り対象者	見守り実施
平成25年度	250	461	6,142
平成26年度	284	587	11,599
平成27年度	290	632	6,109 (9月末)

- ・「地域における福祉課題に関して地域で話し合いや取組が行われていると感じる」区民の割合(平成26年12月区民モニター)27.0%
- ・「地域福祉の取組に関心を持つようになったと感じる」区民の割合(平成26年12月区民モニター)51.2%

【健康】

- ・健康寿命(平成22年国勢調査年齢階級別)
 - 男性：全国 78.2歳、大阪府77.4歳、大阪市 76.1歳、此花区 76.5歳(24区中16位)
 - 女性：全国 83.2歳、大阪府82.3歳、大阪市 81.9歳、此花区 81.3歳(24区中20位)
- ・がん検診受診率(平成24/25/26年度)
 - 此花区 胃がん 3.0%、3.0%、3.4%、大腸がん11.1%、11.4%、13.4%、肺がん 2.1%、2.6%、8.4%、
 - 大阪市 胃がん 5.4%、4.4%、4.6%、大腸がん 9.2%、8.5%、9.2%、肺がん 4.5%、5.2%、6.3%、
 - 此花区 子宮頸がん17.2%、13.2%、15.4%、乳がん12.6%、10.7%、11.7%
 - 大阪市 子宮頸がん21.3%、17.2%、19.3%、乳がん11.8%、10.7%、12.5%
- ・特定健診受診率(平成26年度) 此花区 21.7% 大阪市 20.9%
- ・運動習慣者の割合 此花区(平成26年12月区民モニター) 30.7% (平成27年度健康動向調査) 約31.0%

がん検診受診率の対象者数(分母)
対象年齢以上の人口から下記
A～Eの各項目に該当する人を差し引いた人数(アンケート調査による推計)
A)職場等で検診の機会のある者
B)医療で検診相当行為を受けた者
C)個人的に検診を受けた者
D)入院中など検診を受けることが事実上不可能な者
E)その他(当該疾患で治療中など)

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

- 【福祉】
 - ・地域住民が福祉に関する地域の取組に参画するしくみが整っていない。
- 【健康】
 - ・一部のがん検診の受診率が市平均を下回っている。また、運動習慣者の割合は4割を下回っている。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

- 【福祉】
 - ・見守り活動等の取組を住民が継続的に実施していくための担い手の育成。
- 【健康】
 - ・運動習慣や検診受診率向上について、意識啓発や実践に結びつく環境づくり。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

計
画

自
己
評
価

めざす成果及び戦略 3-1 【3-1 地域に密着して福祉課題の解決をめざす】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・日常生活等に支援の必要な高齢者や障がい者等について、地域での見守り体制が構築され、適切に機能している状態		戦略<中期的な取組の方向性> ・地域のボランティアの協力を得て「このはな地域見守りタイ」による高齢者等の見守り活動を実施	
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・地域における見守り体制が構築され、適切に機能していると感じる区民の割合 50%以上(目標年次:平成29年度)			
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須			
	A:順調 B:順調でない			
戦略の進捗状況		a:順調 b:順調でない		

具体的取組3-1-1 【高齢者等の見守り活動の取組み】

26決算額 6,840千円 27予算額 27,258千円 28予算額 25,858千円

計画	取組内容 ・地域住民で構成する「このはな地域見守りタイ」が、援助を必要とする高齢者等の発見及び、定期的な訪問、電話、安否確認を通じて、対象世帯の把握に努め、対象者を増やしていく(平成27年6月末現在:633人)。 ・要援護者名簿に係る同意確認・名簿整備、孤立世帯等への専門的対応、徘徊者保護の強化(CM事業)		業績目標(中間アウトカム) ・地域における見守り体制が構築されていると感じる区民の割合:50%以上 【撤退基準】 上記目標が40%未満であれば事業を再構築する。	
			前年度までの実績 ・見守り活動:延件6,109(H27.9末現在) ・見守りボランティアの確保数:290人	
中間振り返り	業績目標の達成状況	①(i)		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)		—
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

めざす成果及び戦略 3-2 【健康でいきいきと暮らせる環境づくり】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・区民が自らの健康の維持の必要性を感じている状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・健康維持、健康づくりの推進や生活習慣病の早期発見を図るための健康寿命に関する意識啓発 ・区内各種イベントでの健康体操やポイント事業の継続 ・ターゲットを絞ったがん検診の受診率向上の取組
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・健診等により自身の健康状態を把握している区民の割合:85% (目標年次:29年度)	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性 ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体
	A:順調 B:順調でない	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない	

具体的取組3-2-1 【このはないいきいき長生きプラン】

26決算額 5,058千円 | 27予算額 4,055千円 | 28予算額 1,663千円

計画	取組内容 ・健康体操など区民が身近な場所で主体的に健康づくりを図ることができる取り組みの実施(10地域) ・各種健診や健康講座等の認知度を高め、参加者増を図るポイント事業の継続実施 ・ターゲットを絞った情報発信によるがん検診の受診率向上の取組 年3回以上	業績目標(中間アウトカム) ・健診等により自身の健康状態を把握している区民の割合 80%以上 【撤退基準】 ・健診等により自身の健康状態を把握している区民の割合 70%未満 前年度までの実績 ・健康体操を知っている区民の割合2.8% ・健診等により自身の健康状態を把握している区民の割合 81.5%(H25)
----	--	--

中間振り返り	業績目標の達成状況	①(i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		—
	戦略に対する取組の有効性	—	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	
戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題4

【このはなの魅力や可能性を最大限に活かした地域活力の創出】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年を念頭に設定＞

【魅力発信】

区民が自分の住むまちに誇りや愛着を持ち、地域の公益的活動に積極的に参画している状態

【環境創造】

・区民が日常生活のなかで、自律的に環境に配慮した活動を行える状態

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

【魅力発信】

・此花区内の魅力を再発見したり、区内を魅力的だと感じる割合 42%
（平成26年12月 区民モニター）

質問項目	区民モニター （平成26年12月） N=293		市政モニター （平成26年12月） N=590	
	肯定的な意見	否定的な意見	肯定的な意見	否定的な意見
此花区の魅力についてどのように感じますか？	42%	58%	19%	51%
舞洲が地域活力の創出に寄与していると感じますか？	35%	57%	29%	50%
魅力的だと感じる理由	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的な建造物や名所・旧跡 ・USJ ・人の良さ ・水辺の風景（平成24年3月実施区民モニター） 		<ul style="list-style-type: none"> ・舞洲などのレジャー施設が充実 ・庶民的な雰囲気がある ・淀川等自然が豊かである 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通が不便 ・特にイメージがない ・活気がない

【環境創造】

・「まちの美化など環境問題に関心がある区民の割合」85%（平成26年12月実施 区民モニター）

・「此花区はきれいなまちだと思いますか？」（とても+まあ思う）33.2%

（平成27年1月実施 このはな環境創造ビジョン策定のための区民意識調査 以下同じ）

・「よりよいまちにしていくために改善が必要だと思いますか？」

ごみのポイ捨てやペットの糞の不始末に関するマナー 63.3%

歩きタバコに関するマナー 56.0%

・「此花区の地域環境をよくするために何が必要だと思いますか？」（複数回答）

住民ひとりひとりの意識の向上 68.5%

家庭でのしつけ 62.0%

子どものころからの学校での環境教育 57.9%

・「環境への意識について」（複数回答）

ごみだしや交通安全などのルールを守るのは社会の一員として当然のこと43.7%

エコ活動を継続するには楽しみが必要だ 18.0%

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

【魅力発信】

・区民に対して、此花のまちの魅力を伝えきれていない。

・舞洲が新たな此花のまちの区の魅力として、地域活力の創造につながっていない。

【環境創造】

・緑化活動等環境に関わる取組は地域活動として行われているが、家庭や身近な場所での実践にはつながっていない。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

【魅力発信】

・あらゆる世代へ向けた積極的な情報発信

・此花のまちに関する自由な意見交換の場の提供

・舞洲を活用したイベントの開催による、此花のまちの新たな魅力創出

【環境創造】

・子どもへの啓発や多世代が参加できる環境づくりの取組の推進

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

めざす成果及び戦略 4-1 【4-1 人を育てる視点で「このはな」の魅力発信】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・区民が、舞洲の魅力の再認識などを通じて、此花のまちに誇りと愛着を持つことができる状態。	戦略<中期的な取組の方向性> ・区が有する広報手段だけでなく、民間企業との連携を図り、此花のまちの魅力を区民に対して発信 ・新たな魅力創出のための自由な意見交換の場の提供 ・舞洲が此花区の魅力資源であるという認識を区民に印象付けるためのスポーツ・レクリエーション関係のイベントの実施
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・此花区のまちに愛着や誇りを持つ区民の割合:60%以上(目標年次:30年度) ・舞洲に魅力があると感じている区民の割合50%以上(目標年次:30年度)	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	A: 順調 B: 順調でない			
戦略の進捗状況	a: 順調 b: 順調でない			

具体的取組4-1-1 【このはなブランドラウンドテーブルの活用】

	26決算額	- 円	27予算額	- 円	28予算額	- 円
計画	取組内容 ・此花区の魅力を高めるための自由に意見交換できる場として「このはなブランドラウンドテーブル」を継続実施。(年12回) ・此花区の未来に向けた議論の中で出されたアイデアや取組みを情報発信(区ホームページ 年12回)	業績目標(中間アウトカム) このはなブランドラウンドテーブルが此花区の魅力を高める取り組みを創造できたと感じている参加者の割合 70%以上【撤退基準】 上記目標が60%未満であれば事業を再構築する。				
		前年度までの実績 このはなブランドラウンドテーブルの開催 年11回				

中間振り返り	業績目標の達成状況	①(i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①: 目標達成(見込) (i) 取組は予定どおり進捗 (ii) 取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i) 取組は予定どおり進捗 (ii) 取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成		—	
	戦略に対する取組の有効性	○	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須		
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須		
	①: 目標達成 (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)		

26決算額 2,113千円 27予算額 3,361千円 28予算額 3,020千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	・区民が舞洲の魅力を改めて知ることが出来るよう、舞洲のスポーツ施設を活用した「MKBの祭典」を公募による実行委員会形式で実施する。（年1回）	・MKBの取組が舞洲の魅力の向上に寄与していると思う区民の割合：60%以上 【撤退基準】 上記目標が40%未満であれば、事業を再構築する。
		前年度までの実績 平成27年11月にMKBの祭典を実施

中間振り返り	業績目標の達成状況	①(i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成		—
	戦略に対する取組の有効性	○ × —	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

めざす成果及び戦略 4-2 【環境先進都市・大阪をめざすために行う環境創造のモデル的な取組みの推進】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・区民が日常生活の中で環境問題に関心が持てる状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・環境創造に関する啓発・情報発信 ・緑化等これまで地域住民が取り組んできた身近な環境活動の推進 ・公募による新たな環境創造の取組の支援
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・環境負荷の低減やまちの緑化、美化など環境問題に関心が高い区民の割合:60%以上 (目標年次:平成29年度)	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須		
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	
		A: 順調 B: 順調でない			
戦略の進捗状況		a: 順調 b: 順調でない	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須		

具体的取組 4-2-1 【このはな環境創造プロジェクト】

26決算額 3,699千円 27予算額 5,000千円 28予算額 5,000千円

計画	取組内容 「このはな環境創造ビジョン」に沿った事業の実施 ・環境創造に関する啓発・情報発信(随時) ・清掃活動への支援(年4回) 清掃用具の貸与(通年) ・区内小中学校での環境教育支援(年4回) ・緑化等のエコ活動の活性化(年3回)	業績目標(中間アウトカム) ・まちの美化、緑化などの活動に関心がある区民の割合:60%以上 【撤退基準】 上記目標が50%未満であれば、事業を再構築する。
		前年度までの実績 ・環境教育支援回数(5回) ・環境活動活性化(清掃用具貸与 11回)(~10月末) ・環境創造に係る周知(1回) ・アイデア募集内容の実現(1回)、アイデア募集実施1 ・おそうじマップの作成(予定)

中間振り返り	業績目標の達成状況	①(i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i) 取組は予定どおり進捗 (ii) 取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i) 取組は予定どおり進捗 (ii) 取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成		—
	戦略に対する取組の有効性	○	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

現行の「市政改革の基本方針」に基づく取組等

取組項目1

【歳入の確保 国民健康保険料の収納率向上】

計画	取組の方針・目標内容	当年度の取組内容
	・保険料負担の公平性の確保と本市の歳入増を図る。 (参考) 【此花区国民健康保険料収納率】 24年度 85.37% (全市平均 85.30%) 25年度 85.44% (全市平均 85.72%) 26年度 86.75% (全市平均 86.81%)	・収納対策 ①滞納整理(差押の計画的実施) ②早期納付指導 ③口座振替の徹底 ④資格の適正化(社会保険加入調査・不現住調査) ⑤賦課適正化(保険料の軽減・減免)

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i) (i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①:達成見込み ②:達成できない見込み	—

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況	課題と改善策 ※左記が「③」の場合は必須
	①:目標達成 ②:目標未達成	

取組項目2

【自律した自治体型区政運営を支える職員の育成】

計画	取組の方針・目標内容	当年度の取組内容
	(趣旨・目的) ・自律した自治体型区政運営を支える職員を育成する (取組の概要) ・職員のスキル向上に向けた研修の充実や職場風土づくり (目標) ・仕事にやりがいを感じている・ある程度感じている職員の割合:90%以上	(取組の内容) ・此花区職員力向上基本プランに基づき、職員のスキル向上に向けた研修の充実や職場風土づくりの取組を進める (目標) ・仕事にやりがいを感じている・ある程度感じている職員の割合:90%以上 (平成28年度末に職員アンケートを実施)

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i) (i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①:達成見込み ②:達成できない見込み	—

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況	課題と改善策 ※左記が「③」の場合は必須
	①:目標達成 ②:目標未達成	